

## 令和 4 年度福祉なんでも相談窓口の事業実績

### ■ 相談件数（実人数）

	R3	R4
相談実人数（人）	3,003	3,425
相談のべ件数（件）	7,456	7,808

### ■ 相談内容内訳（実件数・重複あり）

相談の内容	R3		R4	
	件数	割合	件数	割合
経済的困窮（借金・債務、経済的困窮）	406	8.1%	338	5.4%
精神障害（精神障害、依存症、自殺企図）	287	5.7%	407	6.5%
ひきこもり（親の年金のみで子が無職、ひきこもり孤立）	248	5.0%	364	5.8%
病気・けが	1,193	23.9%	1,264	20.3%
認知症	289	5.8%	517	8.3%
住まい（被災者、ホームレス、ごみ屋敷）	187	3.7%	152	2.4%
知的障害・身体障害	385	7.7%	360	5.8%
家庭（家庭内暴力、家庭が不仲）	182	3.6%	259	4.2%
介護（在宅介護が困難）	1,044	20.9%	1,370	22.0%
8050	-	-	56	0.9%
ダブルケア	-	-	4	0.1%
就労（ニート、失業、就労不安定）	154	3.1%	200	3.2%
権利擁護（虐待、成年後見制度、相続）	79	1.6%	182	2.9%
子ども（家庭での養育困難、不登校、非行）	13	0.3%	19	0.3%
その他	533	8.0%	739	11.9%
合 計	5,000	100%	6,231	100%

### ■ 終結件数

複合的課題を抱えた世帯が増え、関係機関につないで終結するという支援ではなく  
伴走型支援に変化してきている。

	R3	R4
相談実人数	3,003	3,425
終結件数	1,329	1,585
終結率	44.3%	46.3%

### ■ 評価と課題

評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 福祉なんでも相談窓口の周知も進んできており、相談件数は前年と比べ増加傾向にある。</li> <li>2 地域や関係機関に積極的にアウトリーチし、連携していく中で、支援が必要な世帯（8050、ダブルケア等）を早期に把握することができ、世帯状況の改善につながるケースも増えてきた。</li> </ol>
課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 課題解決にあたり、本人の特性、世帯の状況、社会資源の不足等もあり、思うように社会参加へつなげることができていない。</li> <li>2 問題が深刻化してからの対応となっているケースもあり、早期発見するには、どのようにしていくか検討が必要。</li> </ol>